

令和2年度 自己評価の観点から

自己評価とは日常保育の中での保育を確認し、気づき、問い直すきっかけを作るものです。さらに保育者自身で課題をまとめ、職員間で話し合い、より一層課題の明確化と園内研修等で園全体として協議し、より良い教育、保育の場の提供へとつながるよう努める手段の1つとして取り組んでおります。

この結果を公開することで、より皆様のご意見等に耳を傾け、一層の自己研鑽に努めてまいります。

1、園の保育・理念・保育方針・保育目標の理解について

C

毎年1年のはじめには理事長より園の沿革についての説明と共に一年間の目標等を伝えているが保育理念等を知ってはいるものの、パートと正職、経験保育年数等により差がある。

2、保育について

C

保育経験数や年齢により立場(ポジション)によりとらえ方に差があるものの、総体的に努力していることが目にみえてきた。

3、健康管理について

C

マニュアルは作成している。コロナ感染の為の対策等、より意識した実践を行っている。しかし、3密、消毒等の他、個々の状況、環境としての施設の利用の仕方の再考が必要。アレルギー対応食も提供しているが除去の方が極端に多い人がいたり、その日の体調によっても異変が生じているので、より深く情報を知り、学びの再考と対応、保護者との協力が必要。

4、行事について

B

自粛の中でのとりくみではあったが施設内の有効利用の中、保護者の理解を得て実施できた。

反面、外出(園外保育)ができなかったのは残念であった。

5、食育について

B

3密を考えての食事のあり方(準備、配膳、片付け)メニューのみなおしなど現場との協力の中ですすめている。体験的活動(おやつ作り、野菜作り、配膳の手伝いなど)自粛したことは残念であった。

6、運営について

B

組織表に基づき役割分担の明確と職務の随行状況の把握、声掛け等を実践すると共に職員会議、クラス会議の実践。内容の共通理解に努めている。毎日の保育のみなおし話し合いが最も大切であることに改めて気づく。

7、保健・安全指導のについて

B

避難訓練、交通安全指導、又危機管理マニュアルを作成し他者との協力体制の終始徹底を図っている。

3密の中での保護者への対応として送迎時の声掛けの仕方や園児の健康チェックの仕方などもっと配慮が必要ではと反省する。

また、机の使い方、椅子の用い方などよりわかりやすい表示、声掛けが必要。

8、研修・研宅について

C

2年度はリモート研修が主となり却って、全体が参加できる部分といつでも参加できるという部分においてよかった…が内容の深読みは期待できない。(決められた時間内の一方的視聴という形での研修参加になってしまう。)

9、情報について

B

園内マニュアルに従い個人記録の管理、保管に努めると共に職員への守秘義務の徹底を図っている。また、気になる案件については、その都度口頭での報告と共に内容によっては紙面等での報告を義務づけている。

10、設備について

B

点検表を作成し当番を決めて安全点検の徹底に努めている。また、業者による半年、一年点検を実施し設備の安全を図ると共に、以上のある場合は、園長確認の上業者の対応をお願いしている。

1 1、保育者、支援について

C

個人面談、参観日等例年より回数は減ったが実践した。そこで、集団生活の中での個々の成長、気になる点等話し合うと共に、家庭での様子、保護者の考えも尋ね聞きより子供理解に努めた。また、週1回のクラスの様子や子育てについての情報紙を配布すると共にホームページを活用して子供の様子、その時々の子育てポイント情報の提供を実施している。一方、気になる子どもについては園内での面接を実施した。しかし、コロナ禍の中どうしても集合したり、会ができず、口頭、文章おたよりでの伝達が主となり徹底が難しい面もある。(特定の方は、全く見ようとしなない)

1 2、開かれたこども園づくりについて

B

- ・今年度は週3回実施していた「プレーママベビー広場」なる園内外の開放を自粛した。
- ・子育て相談については、個々に対応するようにしているが、今年度は、アレルギー対応について伝染性病気、投薬についての質問が多く、個々対応にとどめず、全体への啓発も促した。尚、啓発法としてホームページ、子育て支援の為のおたより(週1回)園だより、玄関出入り口の掲示板を利用した。
- ・中高生の職場体験、希望者がいないこともありコロナ禍の折、あえて受け入れ案内も出さなかった。

1 3、情報発信について

B

- ・園だより等による発信に努めている。
 - ・今年度は、週4回の子育て支援だより、毎月の園だよりそして、気づき、行事についてのお便り等に加えホームページ、動画アップ等に力を入れてこれまでにない方法を取り込んだのは有益ではあったが、そこに意識しすぎて、肝心の保育に支障が生じる場面もあるのでは…とも反省している。
 - ・在園児の保護者に対してお互いに遠慮がちになっている面があった。伝わらないもどかしさ、子育て支援面での園庭開放を中止している。ゆっくり保護者と交わったり園のことを伝える時間的余裕も失われてきている。(コロナも一理由)
- 若いお母さん方の求めているものと、こちらの伝えようとしていることに差を生じている。
- 小学校には指導要録を各小学校へ郵送し、個別に卒園する子供たち一人ひとりに対して成長発達の状況対応、家庭のようすなど事細やかに情報の提供をしている。